



本校教育目標：【自主】自ら進んで学ぶ生徒 【寛容】明朗で思いやりのある生徒 【挑戦】健康でたくましい生徒
〈重点目標〉自ら考え、判断し、目標に向かって実践する生徒 ～夢の実現～

原町三中だより

令和4年11月25日(金)
 第31号
 発行責任者
 校長 志賀 嘉津美
 電話 22-3802

視力低下の問題について～保護者の皆様へ～

全国的に児童生徒の視力は低下の傾向にあり、その背景には新型コロナウイルス感染症対策に伴う在宅習慣の変化やスマホ等端末機器の普及の低年齢化、ゲーム・SNS・動画利用等の時間増加が考えられます。屋外活動が視力低下の予防策として、シンガポールや台湾では国の施策として、小学生等に屋外の活動を推進しています。

本校の状況を見ますと、視力1.0未満の生徒が全体の70.4%(昨年度より4.6%増)となり、南相馬市のR3年度の60.28%、全国の61.51%を大きく上回る数字となりました。9月17日に行われた相馬地方PTA研究大会でも、視力低下については、肥満傾向の増加や歯の健康とともに課題としてあげられました。そこでは、視力の低下については、ゲームだけが原因ではなく、自然と触れ合う機会が少なくなってきたことも要因の一つの考えられること。また、視力低下による診療を勧められても、受診をさせる時間を生み出せないことが課題であることもあげられました。また、先日の学校保健委員会で学校医の方から、「スマホ等の端末機器の長時間使用により、身体の疲れや目・首・肩の疲れや痛みを訴える児童生徒の割合が高くなっている。」とのご指摘も受けました。

右は日本眼科医会から発出された「1人1台デジタル端末を利活用する際の留意点」です。学校でもタブレット端末を使用する機会が多くなっていきます。端末機器を使うときの健康面でのポイントを、本人の習慣として身に付けられるよう、学校でも指導しますが、保護者の方にも気にかけていただくと効果的です。お子様が様々な経験や活動ができるよう、ご家庭でもデジタル機器全般の使い方について、この機会にお考えいただければ幸いです。

1人1台デジタル端末を利活用する際の留意点

- 正しい姿勢で、画面と垂直に目を30cm以上離す。
- 30分画面を見たら1回は、20秒以上遠くを見て目を休める。
- 角度調節や反射低減フィルムで映り込みを防ぐ。
- 教室の明るさにより、画面の明るさを調整する。
- 寝る1時間前には、画面を見ないようにする。
- 外でのびのび楽しく活動する。

学習塾連携事業～学力向上に向けて～

11月22日(火)に、2年生を対象とした「学習塾連携事業」が実施されました。今回は、11月9日に実施した国語に続き、2回目で数学の授業を行っていただきました。この事業は、学習塾との連携を通して、進学へ向けた学習意欲の向上、学習の仕方の習得等を目的に実施しているものです。3月までに国語、数学、英語それぞれ2回計6回の授業を予定しています。

第2回目の数学は河合塾NEXTから講師をお迎えし授業を行っていただきました。事前に配布された課題プリントを使って、ポイントを押さえたわかりやすい授業をしてくださり、2年生の皆さんは真剣に取り組んでいました。3月まであと4回の授業があります。予習をして授業に臨むことによってさらに授業がわかりやすくなりますので、この機会を大切にしてほしいと思います。



学校からのお願い ～安心・安全な学校生活を送るために～ 令和4年11月24日(木)

県民の皆様へ知事メッセージ発出されました。その中には「感染の連鎖を断ち切るためには、『基本的感染対策の再徹底』と『二次感染を広げない取組』が極めて重要です。『自分だけは大丈夫なはず』と思わず、基本に立ち返って対策を徹底してください。」とありました。

生徒自身に発熱や倦怠感、頭痛、咳、鼻水、咽頭痛などの症状がみられる時やご家族に発熱などの症状がある方がいる場合は、無理をして登校せずご家庭で休養していただくようお願い申し上げます。